

「輝け11 しまね町村フェスティバル」(第2回)について

1. 企画概要

- 趣旨 県内11町村の伝統文化・芸能、また豊かな海の幸、山の幸を紹介することにより、これまで培ってきた島根の原風景「まち・むら」の魅力・輝きを情報発信
- 主催 島根県町村会及び島根県町村議会議長会並びにTSK(実行委員会)
 - *後援 島根県・島根県教育委員会
 - *協力 神々の国しまね実行委員会・島根県環境保健公社・山陰合同銀行
 - *特別参加 日本赤十字社島根県支部・ふるさと島根定住財団・島根県緑化推進委員会・島根県猟友会・島根県社会福祉協議会・島根県共同募金会・島根県国民健康保険団体連合会・島根県水産振興協会・島根ワイナリー
- 日時 平成24年10月6日(土曜)及び7日(日曜)の2日間
- 会場 松江市向島町 TSK「エリア8」
- 主な事業内容
 - ・地域の伝統文化、芸能等の紹介
 - ・地域の特産品の紹介、実演、販売促進
 - ・観光、定住促進に向けた情報発信

2. 開催概要

- 1) 来場者数 1万8千人
 - ・昨年(1万1千人)に比べ来場者数は大きく上回り、また今年目標(1万5千人)も達成した。この要因として、昨年(11月下旬)に比べ出かけやすい時期であったこと、事前広報を強化したこと、イベントとして認知度が向上したことなどが挙げられる。また、初日には、島根県内初となる「ニコニコ町会議」が会場内で開催されたことにより、中高生を中心に多くの若い人の来場者があったことも寄与している。
 - ・初日は上記要因により、12,000人と大きく伸びたが、2日目は午前中の雨などが影響し6,000人であった。
 - ・会場全体として賑わいがあり、若い家族連れが多く見られるなど、テレビによる広報効果が大きかった。
- 2) ステージ関係
 - ・メインステージでは、県内各地域の神楽や、本場隠岐の民謡、力強い太鼓、伝統的な踊り、また会場全体を利用した踊りなど、様々な伝統文化などが披露された。
 - ・メインステージと各町村ブースでタイアップするなど、情報発信に工夫が見られた。また、ミニステージでインターネット中継された「ニコニコ町会議」でも、各町村の観光情報等を紹介した(ネット視聴は12万人)。
- 3) 物産ブース関係
 - ・物産ブースでは、県内各地域の海の幸、山の幸が出展された。昨年に比べ来場者が大幅に伸びたことにより、物産関係も、特に実演コーナーを中心に、2、3割増～倍増するなど、売り上げも大きく伸びた。特に、初日は午前中で完売するブースが相次いだ。
- 4) 特別参加関係
 - ・社会貢献として、次の支援活動に協力し、多くの浄財(46万円余)が寄せられた。
 - *東日本大震災松江・島根支援協議会による「東日本大震災復興支援活動」
 - *島根県共同募金会による「赤い羽根募金」・島根県緑化推進委員会による「緑の羽根募金」
 - ・TSKによる「FNSチャリティキャンペーン」